

第7期決算公告

2026年6月25日

沖縄県那覇市久茂地三丁目15番9号  
株式会社長谷工コミュニティ沖縄  
代表取締役 唐真 武史

貸借対照表(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	266,260	流動負債	103,031
現金預金	216,025	工事未払金	12,134
完成工事未収入金	31,494	営業未払金	18,410
営業未収入金	12,952	リース債務	1,036
貯蔵品	43	未払金	12,280
前払費用	4,689	未払費用	19,570
未収入金	854	未払法人税等	23,765
立替金	203	未払消費税等	9,058
		預り金	479
		賞与引当金	6,300
固定資産	12,654	固定負債	6,936
有形固定資産	3,488	リース債務	969
建物	1,643	株式給付引当金	4,075
工具器具備品	36	役員株式給付引当金	1,892
リース資産	1,809		
投資その他の資産	9,166	負債合計	109,968
出資金	1,720	純 資 産 の 部	
差入敷金保証金	85	株主資本	168,946
長期前払費用	375	資本金	50,000
繰延税金資産	6,136	資本剰余金	50,000
その他	850	資本準備金	50,000
		利益剰余金	68,946
		その他利益剰余金	68,946
		繰越利益剰余金	68,946
		(当期純利益)	(67,649)
		純 資 産 合 計	168,946
資産合計	278,914	負債及び純資産合計	278,914

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
  - (1) 棚卸資産  
未成工事支出金  
個別法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
  
  - 貯蔵品  
個別法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）  
定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）によっております。
  - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）  
定額法によっております。  
ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
  - (3) リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。
3. 引当金の計上基準
  - (1) 賞与引当金  
従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
  - (2) 株式給付引当金  
株式給付規定に基づく株式会社長谷工コーポレーション株式の給付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。
  - (3) 役員株式給付引当金  
役員株式給付規定に基づく株式会社長谷工コーポレーション株式の給付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。
4. 収益及び費用の計上基準  
当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点は以下のとおりであります。
  - (マンション管理)  
当該履行義務は、マンション管理に関連する履行義務の内容に応じて一時点又は一定の期間にわたり履行義務を充足し、収益を認識しております。取引価格は顧客との契約により決定しており、対価は当該契約に基づき受領しております。
  - (施設リフォーム工事)  
当該履行義務は、修繕工事等を進めるにつれて物件の価値が増加し顧客が当該資産を支配することから、一定期間にわたり充足される履行義務であり、工事の進捗に応じて収益を認識しております。  
なお、進捗度の測定は、発生原価に基づくインプット法によっております。取引価格は請負工事契約により決定され、対価は契約に定められた時期に受領しております。  
ただし、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については、完全に履行義務が充足した時点で収益を認識しております。
5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
  - (1) グループ通算制度  
グループ通算制度を適用しております。